



2021年  
5月12日  
No.A21-01

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2021年4月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップ・ミーティング

・4月9日(金)、山崎 幸二 統合幕僚長「日本の安全保障」(於：オークラ東京)



#### <要旨>

講師より、我が国をとりまく戦略環境の変化として、中国の軍事的台頭と地域パワーバランスの変化が指摘された。また、我が国防衛のための活動や緊密な日米関係、中東方面における自衛隊の活動などが説明された。

・4月26日(月)、横井 裕 前中華人民共和国特命全権大使「中国勤務を終えてー中国をめぐる内外情勢と日中関係の展望」(於：オークラ東京)

#### <要旨>

講師より、中国における新型コロナウイルス対策の成功、2021年3月に実施された全人代の注目点、バイデン政権の対中政策等について説明がなされた。そのうえで、米中対立下での今後の日中関係の展望が論じられた。



#### (2) 中東情勢オンライン講演会

・4月21日(水)、能化 正樹 駐エジプト特命全権大使「エジプト情勢と日エジプト関係」(Zoom形式)



#### <要旨>

大使より、スエズ運河とナイル川を中心とした地政学的視点、エルシーシ大統領の下での政治経済情勢、外交関係 85年目を迎える日本との関係について説明がなされた。質疑では、エジプトでの国民意識の変容、国内の人口問題、各国との外交関係等について多数の質問が出た。

(3) 中東情勢分析：駐日中東大使に聞く

・4月12日、「中東情勢分析：駐日中東大使に聞く」(第4回、モハメッド・エルーミ駐日チュニジア共和国大使閣下)を発行いたしました。本年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大によって、対面での講演会実施が困難な状況が続いています。そこで中東諸国の大使に、書面インタビューの形式で各国の内外政の状況についてお答えいただくこととなりました。是非お手に取ってご覧ください。  
※会員の方は無料でご覧いただけます。非会員の方もご購入いただくことが可能です(税込み1100円)。詳細はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/133.html>)

**2. 中東調査会の活動**

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2021年4月号(2021年5月12日付)
  - 1. アフガニスタン：米軍撤退が開始
  - 2. パレスチナ：選挙延期の決定
  - 3. トルコ：キプロス問題に関する5+1非公式協議の開催
  - 4. イラン：ザリーフ外相が革命防衛隊を批判する音声が流出
  - 5. チュニジア：新型コロナウイルス感染拡大の第3波に直面
  - 6. サウジアラビア：ビジョン2030の経過報告
- ※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

(2) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- ・No.1「犯行声明から見るイラク・シーア派民兵の動向」(4月9日)
- ※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/monitor/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/))

(3) 中東かわら版の発行

- No.1「エジプト：スエズ運河でコンテナ船が座礁」(上席研究員 金谷美紗、4月2日)
- No.2「ヨルダン：ハムザ王子らの逮捕」(上席研究員 金谷美紗、4月6日)
- No.3「イラン：イラン・米国間の間接協議が始まるも協議は長引く見通し」(研究員 青木健太、4月7日)
- No.4「イラク：米軍撤収の発表とシーア派民兵」(研究員 高尾賢一郎、4月9日)
- No.5「イラン：韓国船籍タンカーの解放」(研究員 青木健太、4月9日)
- No.6「イラン：ナタンズ核関連施設で電気系統の「事故」が発生」(研究員 青木健太・上席研究員 金谷美紗、4月12日)
- No.7「GCC：コロナ禍2年目のラマダーン」(研究員 高尾賢一郎、4月12日)
- No.8「リビア：各国大使館の再開に向けた動き」(研究員 高橋雅英、4月13日)
- No.9「イラン：新型コロナウイルス対策事情(感染拡大の「第4の波」に直面)」(研究員 青木健太、4月13日)
- No.10「イラン：ウラン濃縮度60%への引き上げを宣言」(研究員 青木健太、4月14日)
- No.11「アフガニスタン：バイデン米政権が9月11日までの米軍撤退延期を決定」(研究員 青木健太、4月15日)
- No.12「リビア：予算問題により石油輸出が停止」(研究員 高橋雅英、4月26日)
- No.13「サウジアラビア：ムハンマド皇太子によるビジョン2030の中間報告他」(研究員 高尾賢一郎、4月28日)

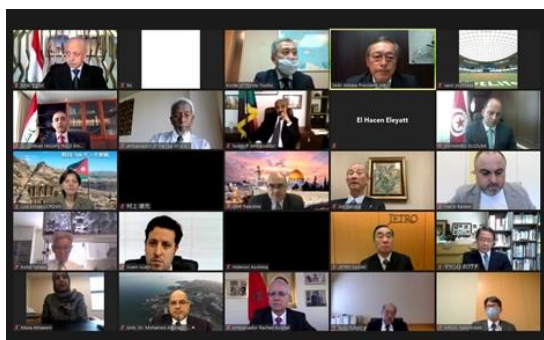
(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(4) その他の活動

- ・4月21日(水)13:30～、齋木理事長がアラブ・ジャパン・デーのオンラインイベントにて基調講演を行いました。

## <要旨>

齋木理事長より、COVID-19 と国際協力の必要性、アジア地域と中東地域における緊張の高まりへの懸念、日本とアラブ諸国の関係について説明がなされた。質疑では、日本による各国 COVID-19 対策への支援や中東調査会の活動、パレスチナ問題での日本の役割等について多数の質問が出た。



- 2021年4月26日(月)、シャイダ・モハマド・アブダリ駐日アフガニスタン大使が、新任ご挨拶のため齋木理事長を表敬訪問しました。大使より自らのご著書をご寄贈頂きました。(写真撮影のためマスクを外していません)



- 東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく A/国際社会と地域 1」へ当会研究員が出講した。

- ① 「ガイダンス：中東諸国の成り立ちを理解する」(上席研究員 金谷美紗、4月14日)
- ② 「国家・宗教・法：近代をめぐる西洋・中東の比較(1)」(研究員 高尾賢一郎、4月21日)
- ③ 「世俗化と過激主義：近代をめぐる西洋・中東の比較(2)」(研究員 高尾賢一郎、4月28日)

### 3. その他 (要人往来)

- 1日、第2回日アラブ政治対話がオンライン開催され、茂木外相が出席した。
- 16日、菅首相は米国のバイデン大統領と会談した。

### 4. イベントの予定 (5月)

- 5月10日(月) 16:00~17:30、中東情勢オンライン講演会(清水 信介 駐チュニジア特命全権大使「革命から10年を経たチュニジア情勢と日チュニジア関係」)(Zoom形式)
- 5月14日(金)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(安藤 裕康 東京国際映画祭チェアマン・独立行政法人国際交流基金顧問「日本のソフトパワー」) \*法人会員限定 ※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。  
(<https://www.meij.or.jp/event/>)

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。